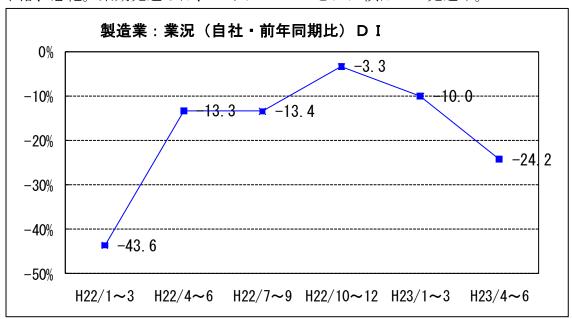
# 2. 製造業の動向

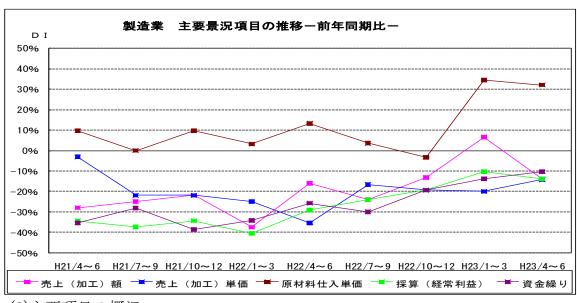
## (1)業況概要(前年同期比)

今期の業況DI値は、マイナス24.2。前期マイナス10.0に比べ14.2ポイント下落、悪化。来期見通しは、マイナス23.1とほぼ横ばいの見込み。



製造業の主要景況項目 DI 値の推移(前年同期比・%)

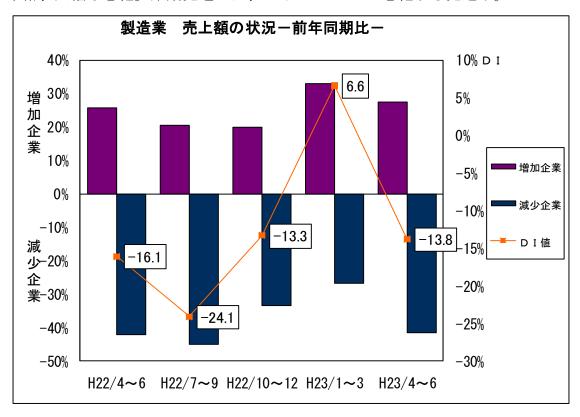
	前々期	前 期(A)	今 期(B)	今期と前期の差	来期
	(22年10月~12月)	(23年1月~3月)	(23年4月~6月)	(B) - (A)	見通し
売上(加工)額	<b>▲</b> 13. 3	6. 6	<b>▲</b> 13.8	<b>▲</b> 20. 4	<b>▲</b> 21. 4
売上(加工)単価	<b>▲</b> 19. 4	<b>▲</b> 20. 0	<b>▲</b> 14. 3	5. 7	<b>▲</b> 18.5
原材料仕入単価	<b>▲</b> 3. 3	34. 5	32. 1	<b>▲</b> 2. 4	29. 6
採算(経常利益)	<b>▲</b> 19. 4	<b>▲</b> 10. 3	<b>▲</b> 13.8	<b>▲</b> 3. 5	<b>▲</b> 17. 9
資金繰り	<b>▲</b> 19. 4	<b>▲</b> 13.8	<b>▲</b> 10. 3	3.5	<b>▲</b> 17. 9



#### (2)主要項目の概況

①売上(加工)額〈前年同期比〉

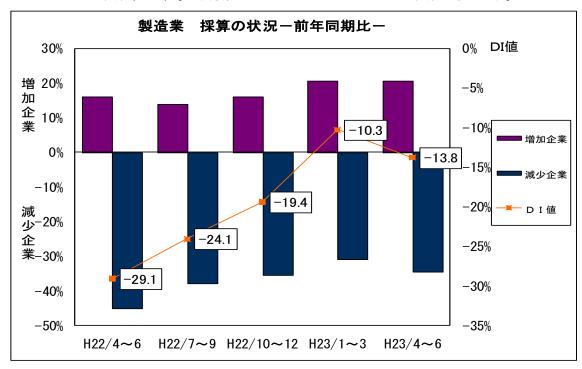
今期の売上(加工)額D I 値は、マイナス 13.8。前期 6.6 から 20.4 ポイント下落、大幅な悪化。来期見通しは、マイナス 21.4 と悪化する見込み。



## ②採算(前年同期比)

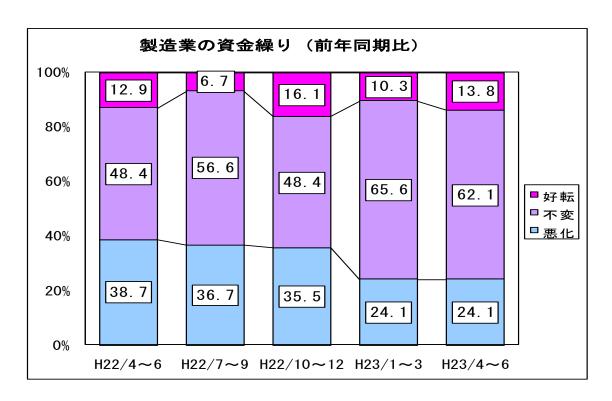
今期の採算(経常利益) D I 値は、マイナス 13.8。前期のマイナス 10.3 から

### 3.5 ポイント下落、悪化。来期見通しはマイナス 17.9 と下落の見込み。



#### ③資金繰り(前年同期比)

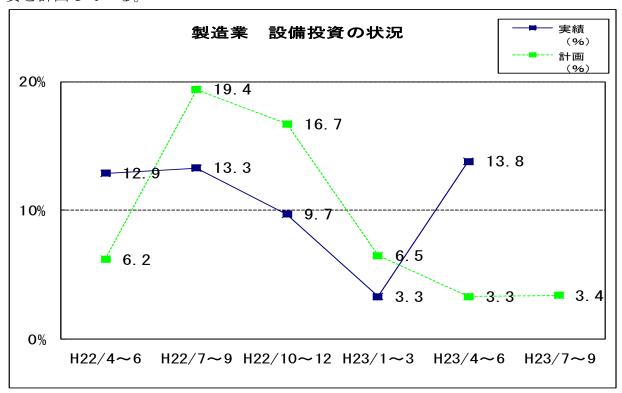
今期の資金繰りDI値は、マイナス 10.3。前期のマイナス 13.8 から 3.5 ポイント上昇、回復。来期見通しはマイナス 17.9 と悪化の見込み。



④設備投資 新規設備投資の状況

				±п.	<i>\/f</i> \ <del>\</del> ₹	-	, <i>t</i> ->			
					資 内 容					
	あり	土地	工場	生産	車両・	付帯	OA	福利厚	その他	なし
			建物	設備	運搬具	施設	機器	生 施 設		
前期実施 (実数)	1	0	0	1	0	0	0	0	0	29
(%)	3.3	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	96.7
今期実施 (実数)	4	0	0	3	0	1	0	0	0	25
(%)	13.8	0.0	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	86.2
来期計画(実数)	1	0	0	1	0	0	0	0	0	28
(%)	3.4	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	96.6

今期設備投資を実施した企業は 4 社(13.8%)。前期(平成 23 年 1~3 月期)の実施企業 1 社(3.3%)から 3 社増大。来期は 1 社(3.4%)が、生産設備投資を計画している。



### ⑤経営上の問題点

今期、製造業が経営上の問題点として一位~三位にあげる項目は、

- ・ 「需要の停滞」 (前期 66.0 % → 今期 68.0%)
- ・ 「製品ニーズの変化」 (前期 37.9 % → 今期 32.0%)
- ・ 「製品(加工)単価の低下、上昇難」 (前期 27.6 % → 今期 28.0%)
- ・ 「原材料価格の上昇」 (前期 27.6 % → 今期 28.0%)

となっている。

